

高商連ニュース

読者100人拡大で交流会を迎えよう

■交流会にむけた拡大状況(6/4現在)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	2	0	0
香美郡	11	0	2	6	0	8
南国	6	0	21	2	0	4
高知	11	3	4	2	0	6
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	2	0	0	0	0	2
中村	5	1	4	0	0	3
計	35	4	31	12	0	23

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

全商連地方別活動交流会が、6月17日(土)・18日(日)、岡山市で開催されます。県下全民商から26人が参加します。

拡大推進委員会「読者100人拡大をめざそう」

6月6日に県連拡大推進委員会を開催。拡大が大変遅れていることを率直に論議。「せめて全国平均には追いつこう」「読者100人拡大で交流会を迎えよう」と確認しました。参加していた推進委員は自主目標を決意し、欠席民商については要請数を決めました。

頭影基準達成となる10人目標を決意した安芸民商の鈴木さんは、「4月以降拡大ゼロで、きつい目標だけど、明後日の理事会で、“達成して交流会に行こう”と相談します」と語っていました。

あと2人で読者頭影に到達する仁淀川民商の上岡会長は、「早く達成して県下の弾みにしてほしい」と皆から要請され、自主目標3人を決意しました。

中村まで拡大遠征

東谷会長と片山拡大推進委員(南国)は、5日、日帰りで中村まで拡大に。東谷さんの得意先2軒が読者になってくれ、中村民商にプレゼントしてきました。

南国婦人部 読者3人拡大

南国民商婦人部・さおとめ一座のメンバーは、今治民商まつりの出張公演の練習後、片山拡大推進委員の訴えに応え、山崎さん、北村さん、六川さんが早速読者を拡大しました。

香美郡 婦人部員5人拡大

地方別活動交流会にむけ、「前総会時現勢を回復しよう」と役員会で話し合い、拡大行動をしよう」と確認。

さっそく5月22日に対象者者名簿で探し訪問しました。香北を中心に4軒訪問し、「2年に1回誕生日にお花が届きます」「レクリエーションの時には補助しています」「記帳の学習会も開いています。いっしょに勉強しましょう」と誘いますが、すんなりとはいきません。「いろんな全国の会があるときに代表を送る支えになつてくれませんか?2000円で◎」と言うと「何ちゃあようせんで」と言いながら4人ともが入ってくれました。

その後、事務所を訪れた会員の従業員さんに勧め、入部に。その場に居合わせた竹内さん、川添さんと共に婦人部拡大におおいに沸き、拍手で歓迎し目標の5人拡大となりました。

(6/5香美郡民商会報)

高商連総会での田口朝光県労連委員長の挨拶(要約)

(編集、文責・高商連事務局)

高知憲法アクションの呼びかけ人の一人としてご挨拶します。

今日は2つのこと、安倍内閣の特徴と今後の政局の展望ということでお話をさせていただきます。

まず安倍内閣の特徴は、“だます政治”だということです。だます、そらす、はぐらかす、そして自分に都合の悪い議事録や資料は隠し、破棄をする。隠し通せなくなったら「怪文書だ」ということで相手の人格攻撃をする。前事務次官の前川さん証言に対し、「彼は役所を辞めた人間だ」「部外者だ、私人だ」と。そして挙句の果てに、下半身ネタを持ち出すということで、出会い系バーに行っていたということです。これをすっぱ抜いたのは読売新聞です。これでわかると思うのですが、このネタ元はどこかという公安です。

2点目は、「抱きつき戦略」、「かこつけ政治」ということ。「抱きつき戦略」とはなにかという私たちが今まで主張してきたことをあたかも自分がやるんだというふう盗み取りをする。しかしそれは表面だけで本質は全く違う、それがかこつけ政治です。北朝鮮の無謀な核開発、これにかこつけて共謀罪を通してしまふ。電通の過労自殺、これにかこつけて1ヶ月100時間という過労死ライン、これを合法化する。それがかこつけ政治の典型だ、というふうに思います。

3点目の特徴が反知性精神、反民主主義。菅官房長官は説明をパスして結論だけを言う。考えること、説明することをパスする。まさに反知性主義だというふうに思います。そして反民主主義は、民主主義の原理を単なる多数決の原理とおとしめてしまふ。少数意見などには耳を貸さない、まさに独裁への道です。

ではなぜこういう政権が高い支持率を得ているか。共同通信55%、毎日新聞46%。これには2つ理由がある。1つは、ポスト真

実。嘘を言い募ってそれを通してしまふ。国民がそれに慣れてしまつて、嘘をついたことを批判するのではなくて、まだこの嘘は安倍さんにしてはまだましかとそういう風に慣れてしまふ。ポスト真実の政治。もう1つは受け皿の問題。午後から民進党の広田さんが来られるそうですが、野党共闘の道を語っていただきたいなと思います。7月20日には市民と野党の討論会の計画をしています。共同候補を擁立するには、腹をくくらないといけない時期に来ています。

今後の展望ですが、ひとつは2つの森友問題と共謀罪の闘いをセットでやっていく、これが必要だと思います。今、蕎麦屋さんでこんな蕎麦が流行っております。“安倍おろし蕎麦”。「盛りもかけも安倍のそばには疑惑がいっぱい」。やはり森友学園、加計学園の問題、これを全面に出しながら安倍政治の本質をあぶり出しながら共謀罪の闘いもすすめていく。これが今後の展望かなと思います。

今後政局はどう動くのか。私は2013年の高商連幹部学校の学習会に呼ばれ、2020年を安倍リンピックにして、ヒトラーと同じように高揚感の中で改憲を通すんじゃないかと言いました。まさにそのようになってきたということです。2019年7月の参議院選挙に国民投票をぶつけてくる可能性もあります。しかしそこには1つの問題があります。2019年10月、皆さんご存知のように2回延期した消費税が10%に引き上げがあります。おそらく安倍首相は憲法を変えるためならこれを三度延期することもあり得るんじゃないでしょうか。そうしたら財務省がカンカンになるわけですね。そこで内部のゴタゴタも出てきます。そういう長期の展望をしながら日本会議との草の根対決だと思っています。自民党の内部も割れてくる可能性がある。2つの学園問題でこちらは攻めていけますから、攻めて攻めて安倍おろしをする。ともに頑張っていきましょう。これからもよろしくお願ひします。